



NEWS RELEASE

報道資料

2007年11月14日

(日本時間)

アプライド マテリアルズ エドワーズ社カチナ部門の資産買収を完了

アプライド マテリアルズ (Applied Materials, Inc., Nasdaq : AMAT、本社 : 米国カリフォルニア州サンタクララ、社長兼 CEO マイケル・スプリンター) は 11 月 9 日 (現地時間)、エドワーズ・バキューム社 (Edwards Vacuum, Inc.) から、半導体製造装置の部品洗浄および再生を行うカチナ (Kachina) 部門の一部資産について、買収を完了したことを発表しました。この買収により、アプライド マテリアルズは既存のチャンバサービス施設のネットワークを拡大し、部品洗浄、コーティング、再生、解析といった重要な技術サービスを世界の半導体業界に提供するリーダーとしての地位をさらに強化します。

この買収では、米テキサス州オースティン、アリゾナ州フェニックス、オレゴン州ヒルズバラにあるカチナの各施設での業務、ならびにイスラエル、アイルランド、米バージニア州のカチナ顧客先におけるオンサイトサービスが対象に含まれます。買収された資産はすべてアプライド グローバル サービス組織に統合されます。現在アプライド マテリアルズは北米、ヨーロッパ、イスラエル、台湾、シンガポール、中国で部品洗浄サービス施設を保有ならびに運営しており、この事業はメトロン チャンバ パフォーマンス サービス製品ユニットの一部をなしています。

本プレスリリースには、カチナの資産買収とこの取引から予想される利点、アプライドの戦略的ポジションなどに関する将来の見通しが述べられています。こうした記述は既知または未知のリスクや不確定要素に左右されるため、実際の結果はこうした記述が明示ないし暗示する帰結と実質的に異なる場合があります。そうしたリスクや不確定要素としては、①買収事業の円滑な統合と業績、②半導体業界の需要の持続性 (グローバルな経済状況、事業支出および消費者支出、エレクトロニクス製品への需要、国際情勢不安などの影響を受ける)、③顧客企業のウェーハ製造能力、④当社が広範な製品を開発・提供およびサポートし、既存市場を拡大ならびに新市場を開拓する能力、⑤当社が米証券取引委員会 (SEC) に提出する書類に記載されているリスク、その他があります。将来見通しの記述はすべて 2007 年 11 月 9 日現在の経営陣の推定、予測、仮定に基づくものです。アプライド マテリアルズは将来見通しの記述を更新する義務を負っておりません。

アプライド マテリアルズは、Nanomanufacturing Technology™ ソリューションのグロー

バルリーダーとして、半導体デバイス、フラットパネルディスプレイ、太陽電池などの製造装置ならびに、サービス、ソフトウェア製品を幅広く提供し、ナノマニュファクチャリングテクノロジーを人々のライフスタイル向上に役立てています。

詳しい情報はホームページ：http://www.appliedmaterials.com/news/index_6.html（日本語）でもご覧いただけます。

このリリースは 11 月 9 日米国においてアプライド マテリアルズが行った英文プレスリリースをアプライド マテリアルズ ジャパン株式会社が翻訳の上、発表するものです。

アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社(本社:東京都、代表取締役社長:渡辺徹)は 1979 年 10 月に設立。大阪支店ほか 15 のサービスセンターを置き、日本の顧客へのサポート体制を整えています。

このリリースに関する詳しいお問い合わせは下記へ

アプライド マテリアルズ ジャパン株式会社
〒108-8444 港区海岸 3-20-20 ヨコソーレインボータワー
コーポレート マーケティング部 : 平澤 美香 (Tel: 03-6812-6807 / Fax: 03-6812-6833)
ホームページ: <http://www.appliedmaterials.com>
